

## 第2 事業活動結果

### 1 公益目的事業

#### (1) 公園施設等運営事業

指定管理の主要業務である公園、施設などの管理及び運営については、以下のとおり事業に取り組みました。

##### ア 公園、施設などの管理及び運営

利用者の安心安全を第一に、33年間蓄積してきたノウハウを生かし、年間を通して点検、除草、樹木の剪定、施設や設備の修繕、ごみ回収などを進めました。

公園に設置された遊具や健康器具については、専門業者により点検を行い、簡易な修繕については事業団で実施いたしました。

##### イ 緑化の推進

###### (ア) グリーンカーテン

市民体育館において、ロビーの窓にゴーヤでグリーンカーテンを作り、緑化の推進とともに省エネに努めました。

###### (イ) 花壇の整備等環境緑化の推進

市民体育館正面玄関の花壇を整備し、来園者に楽しんでいただけるよう花を植えました。また、スポーツ公園テニスコート周りに低木を捕植し環境緑化の推進に努めました。

###### (ウ) 寄せ植え教室

緑化を推進する活動とし寄せ植え教室を実施し、15名参加いただきました。

#### (2) スポーツ振興等事業

スポーツによる市民の健康づくりを支援し、継続して活動していただけるよう、以下のとおり事業に取り組みました。

##### ア 講習会の開催

八幡市では、ウォーキングの日を設けるなど、市民の健康づくりに役立つウォーキングを奨励しております。また、やわたスマートウェルネスシティ事業を実施していることから、当事業団としても、その事業の一環として市民が健康づくりに役立てていただけるよう、3月に市民スポーツ公園でウォーキング教室を開催し19人参加いただきました。

##### イ スポーツを楽しむ日の開催

市民体育館で11月に、卓球、バドミントン、バレーボールなどを自由に楽しんでいただく「スポーツを楽しむ日」を開催。八幡市健康推進課の体組成測定会、八幡市スポーツ推進委員会のニュースポーツ体験、京都SKYのおもちゃの病院に御協力いただき90名参加していただきました。

## ウ 高齢者を対象とした教室の開催

### (ア) シニアスポーツクラブ

柔軟な体づくり、筋力の向上、運動の習慣づけなどに役立つシニアスポーツクラブを前年度に引き続き週2日開催しました。令和3年度の実施回数は64回（前年度は54回）、参加者数は延べ約1,340人（前年度約930人）でした。

### (イ) 男性トレーニング&女性シェイプアップ

男性は筋力の向上を目的に、女性はシェイプアップを目的にトレーニングルームでマシンを使用する教室を前年度に引き続き開催しました。令和3年度の実施回数は32回（前年度は34回）、参加者数は延べ約790人（前年度約730人）でした。

### (ウ) プラチナビクス

足腰への不安や負担をかけたくない方向けに、椅子を使う有酸素運動、太ももやふくらはぎの筋力トレーニング、口腔機能の向上トレーニングを前年度に引き続き開催しました。令和3年度の実施回数は25回（前年度は19回）、参加者数は延べ190人（前年度130人）でした。

## エ 移動ふれあい動物園の実施

動物園内の開催にとらわれず移動動物園を企画し、開園以来初となる「移動ふれあい動物園」として有都こども園で園児にミニチュアホース、ウサギ、モルモットに触れ合っていました。

## オ 各種大会への協力

八幡市、八幡市スポーツ協会、当事業団などで構成する実行委員会が主催した市民マラソン大会及び八幡スポーツカーニバルに積極的に参加、協力しました。

## カ 情報提供

令和3年度のホームページアクセス数は約24万4千件（前年度は約20万5千件）で増加しました。また、教室の案内などを掲載した事業団だよりを年2回（9月、3月）全戸配布し、スポーツ・健康運動教室を案内する事業団だよりを公共施設等にも備え置いて周知に努めました。

## 2 収益目的事業

令和3年度の利用料収入は、新型コロナウイルスの影響により約4,182万円となり、前年度（約4,542万円）に比べて7.9パーセント、約360万円の減となりました。

有料公園の延べ利用者数は約21万人で、利用者数は前年度（約21万人）とほぼ同人数の利用がありました。

収益目的事業においても、市民の健康、体力づくりに寄与するため、引き続き次のとおり事業に取り組みました。

(1) スポーツ振興事業

ア スポーツ教室の開催（自主事業）

市民体育館及び男山レクリエーションセンターにおいて、新型コロナウイルスの影響により、開催数の減やアリーナで開催するなど、感染対策を取りながらの開催となりましたが、それぞれ年齢、体力、技術レベルなどに応じた多様なスポーツ教室を開催いたしました。

令和3年度の全教室開催回数は491回、延べ参加者数は約7千4百人（前年度は約6千8百人）でした。

イ トレーニングルームの運営

令和3年度のトレーニングルーム利用者数は約1,890人（前年度は約1,930人）で、利用人数の制限や予約制にするなどの対策を取りながら、御利用いただきました。

(2) 施設の貸与

施設については、これまでどおり、八幡市が主催、関与し又は八幡市が委託、補助するなどの公益性の高いスポーツ、健康、学校行事などを優先利用としました。

(3) 自動販売機の設置、スポーツ用具などの貸与

来園者などへの利便を図るため、これまでどおり飲料水などの自動販売機の設置や、スポーツ用具など貸し出しを行い、令和3年度は併せて約200万円（前年度は約225万円）の収入を得ました。

3 新型コロナウイルス感染防止対策の取り組み

有料施設において、令和2年度に引き続き、臨時休園及び休館並びに時間短縮や利用人数など利用制限を行いました。また、施設の利用者、スポーツ・健康運動教室に参加される方に「体調管理チェックシート」の提出、利用後の施設や備品類の消毒を徹底するなど利用者の御理解と御協力を得ながら感染防止対策を実施。また、市民体育館及び市民スポーツ公園クラブハウスのトイレ及び更衣室の手洗いを自動水栓に取り替え、洋式トイレの便座を衛生的に御利用いただくため便座クリーナーを設置、市民スポーツ公園クラブハウスの小便器を自動水栓に取り替えるなど感染防止対策にも取り組みました。今後も引き続き、利用者等の御理解、御協力を得ながら感染防止対策に取り組んでまいります。